

令和3年度
事業計画書
収支予算書

令和3年6月2日（水）



栗原市農泊推進協議会

～ 目 次 ～

I 事業報告	2
1 目的	2
2 実施事業	4
(1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践	4
(2) 創業支援	4
(3) プログラム創出	5
(4) 農産物等の販売促進	7
(5) サイクルツーリズム推進	7
(6) PR	7
(7) 地域おこし協力隊	8
(8) その他	8
3 実施体制	9
II 収支予算	10
1 収入の部	10
2 支出の部	10
3 予算流用・資金調達の特記事項	10

I 事業計画

1 目的

本会の目的である「栗原市の地域資源を活用した滞在型の旅の創出」を実現するため、ツアープログラムの実践やアクティビティ開発、必要な物品の調達等に取り組みながら、会員のネットワークを生かした創業支援、会員の事業との連携に取り組んでいく。

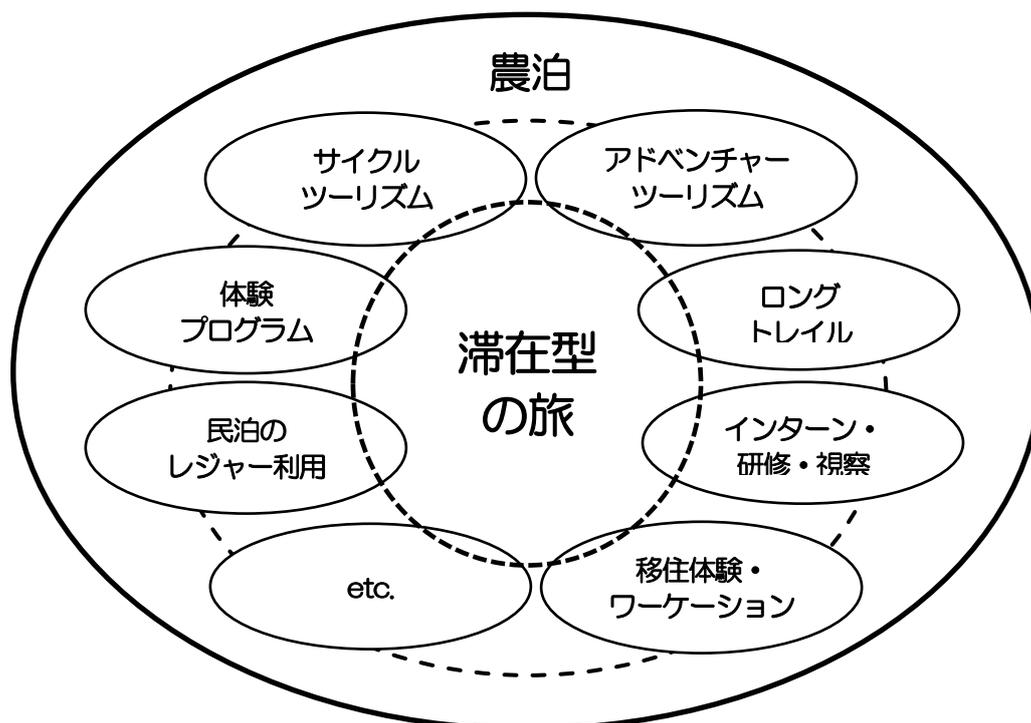
また、資金調達は、公益性の高い事業性を生かし、行政・民間の補助事業等を積極的な活用に取り組む。

(1) 滞在型の旅の創出

滞在型の旅を創出するため、コロナ禍に対応した来訪する動機（テーマ）をより多く生み出し、来訪者の動線をデザインする。

具体的には、昨年度から取り組んでいる「アドベンチャーツーリズム」で既存の体験プログラムやサイクルツーリズム等を再編集して活用するほか、栗駒山麓ジオトレイル等の新たなコンテンツの開発に取り組む。

また、体験プログラムや民泊のレジャー利用等、これまでの取組みを継続し、多様な動線の創出に取り組む。



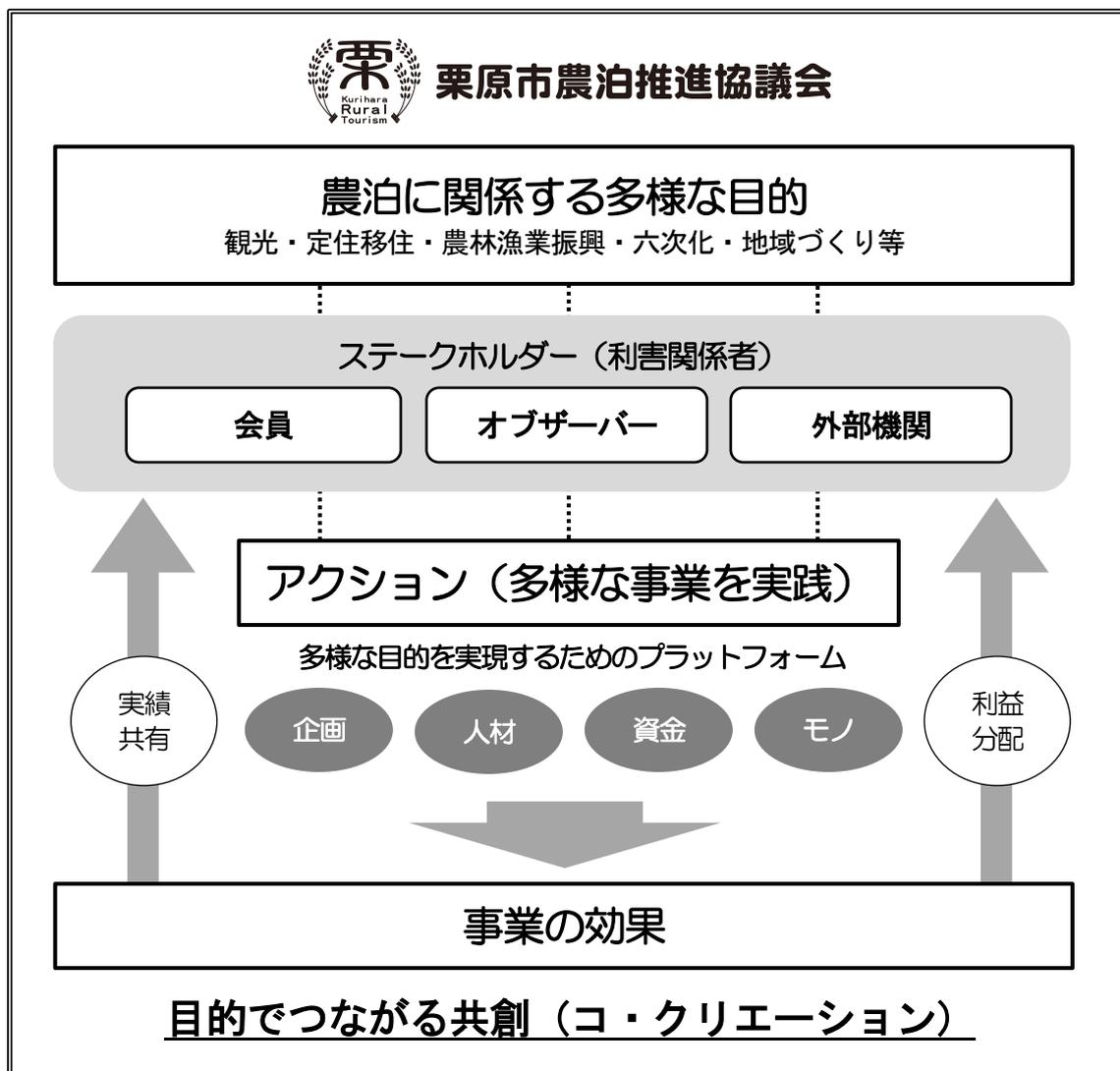
(2) 創業支援

これまで取り組んできた宿泊・飲食事業者の開業支援の取組みに加えて、既存の事業者が農泊関連の事業を新たに始める場合など、多様な開業のパターンを地域全体で効果的にコーディネートするため、「創業支援」のシステムの構築を検討する。

地域全体で「創業支援」に取り組むためのシステムを検討し、取組みのフェーズを次の段階に進める。

(3) 地域のプラットフォーム

農泊推進は、観光・定住移住・農林漁業振興・六次化・地域づくり等の多様な分野が関係する。栗原市農泊推進協議会は、農泊推進だけではなく、多様な分野の目的を達成するため、地域の多様なステークホルダーが共創（コ・クリエーション）を実践する土台・基盤となり、プラットフォームとしての機能を発揮することを目指す。



【プラットフォーム】

サービスやシステム、ソフトウェアを提供・カスタマイズ・運営するために必要な「共通の土台（基盤）となる標準環境」を指します。パソコンでいえば、パソコン本体やウィンドウズなどのOSと言えます。

【ステークホルダー】

企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者を指します。

【共創（コ・クリエーション）】

多様な立場の人たちが、利害関係のあるステークホルダーと対話をしながら新しい価値を「共に」「創る」こと。

2 事業概要

(1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践

①部会の開催

【運営部会】

協議会の運営の検討や、事業や助成金等の情報共有のため開催する。主に Facebook グループページを利用したコミュニケーションを実践する。

【宿泊部会】

宿泊事業者の運営サポートとネットワーク化をはかり、新規開業をサポートするため開催する。

【サイクルツーリズム部会】

サイクルツーリズムを推進するために必要な事業を関係者と協議するために開催する。特に、レンタサイクル事業やマップ作成などに取り組む。

【創業支援部会】

多様な開業のパターンを地域全体で効果的にコーディネートするため、「創業支援」のシステムの構築を目指し、関係者と協議するために開催する。

【その他の部会】

関係者の調整や協議が必要な案件が発生した場合は、規約第8条の規定により、会長の判断で柔軟に部会を設置し、協議を進める。

②その他

【会員、関係機関とのミーティング】

農泊事業に関係する案件を協議するため、随時、会員やオブザーバー、関係者等とのミーティングを実施する。

【地域おこし協力隊とのミーティング】

栗原市内で各々のミッションに取り組んでいる地域おこし協力隊との意見交換、事業の連絡調整を行う。

(2) 創業支援

①創業サポート

創業希望者の創業サポートやセミナー開催等に取り組む。また、創業支援部会で地域全体のサポート体制を検討する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

②運営サポート

宿泊・飲食事業者の運営をサポートする。
(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

③長屋門ステイ Project

(一社) くりはらツーリズムネットワークが所有する長屋門を宿泊施設化する。
東京大学林憲吾研究室との共同プロジェクトで、昨年度完成した基本設計を基に改修に向けた実験等を行う。宿の運営方針の協議、付随イベントを開催する。
(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

④リスクマネジメント講習会

NPO 法人自然体験活動推進協議会 (CONE) の訓練プログラムにより、アウトドアでの安全対策や安全管理・保険・事例等のリスクマネジメントを学ぶ。
(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑤文字活動拠点施設管理

空き家を地域おこし協力隊の活動拠点施設として活用するため、施設の管理及び運営に必要な施設・周辺環境の整備や施設の活用を検討し実践する。

⑥その他

栗原市の「2021 おかえり栗原。」プロジェクト等の定住・移住事業、他機関が実施する農泊関連事業と連携する。

(3) プログラム創出

①体験プログラムの開発・実施

滞在型の旅行を創出するため、アクティビティの柱として体験プログラムを年間通じて創出する。
(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

②宿泊プラン作成・販売

アドベンチャーツーリズム、栗駒山麓ジオトレイル等のアクティビティ、農村体験等の宿泊プランの作成・販売を行う。
(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 櫻庭伸也)

③民泊施設での日帰りレジャー企画「民泊で遊ぼう！」

民泊への来訪目的に「日帰りレジャー」を追加するため、日帰りのできる農産物の収穫体験や料理体験のプログラムを開催する。
(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

④ホームステイ事業

ホームステイによる滞在型の旅行商品を造成し実践する。1泊2日～2泊3日

程度で民泊を中心としたツアー企画。目的をレジャーに留めず、研修・視察等の「学び」もテーマにする。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑤栗駒山麓ジオトレイル（仮称）の推進

栗駒山麓ジオパーク推進協議会が中心となって進めている、ジオサイトを活用したロングトレイル開通に向けた取り組み。当会では、アドベンチャーツーリズムの重要なコンテンツとして位置づけ、開通に向けたイベント等を開催する。

(申請主体：栗駒山麓ジオパーク推進協議会)

⑥栗原地元食大学大学院

地域の豊かな食文化の魅力を体現する実践者の養成を行う。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑦国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業

(栗駒国定公園でウェルナスな旅創出プロジェクト)

昨年度に実施した「栗駒国定公園アドベンチャーツーリズム創出事業」で造成したアクティビティ（30件）、ツアープログラム（10件）を商品化し、ウェブサイト掲載等のPR、OTAサイト開設等により誘客に取り組む。また、サステイナブルツーリズムの開発として、栗駒山麓ジオパークのコンテンツを活用し、低公害型移動手段の推進など地域環境にローインパクトなプログラムを関係者によるWSで開発し、また専門講座を開催して関係者のスキル向上をはかる。

○アドベンチャーツアープログラム造成・販売

・目標：5種類以上 ・達成状況把握：販売数、催行数、参加人数

○アドベンチャーツーリズムWebサイト開設

・目標：10種類以上のアクティビティ、5種類以上のツアー掲載

・達成状況把握：アクティビティ、ツアーの掲載数

○サステイナブルツーリズムプログラム開発（WS）

・目標：5種類以上 ・達成状況把握：企画書の作成

○サステイナブルツーリズム開発WS

・目標：1回以上実施 ・達成状況把握：参加者数6人以上

※環境省「国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業費補助金」

⑧栗駒文字地区での体験プログラム開発・実施

苔テラリウム作りや、スノーモービル体験等のプログラムを開催する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 櫻庭伸也)

(4) 農産物等の販売促進

地域の農産物を活用したイベント、プロモーション等を地域内外の事業者と連携して行う。くりはら秋の大収穫祭(飲食店フェア)、カフェ・パティシエ専門学校との商品開発、「生産者×シェフ」テロワージュイベント等を開催する。

(くりはらファーマーズプロジェクト)

(5) サイクルツーリズム推進

①くりくりサイクリングくらぶ

自転車カルチャーを創造し、市民や旅行者がサイクリングを楽しむ場を創出するため、自転車イベントを実施する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク)

②ツール・ド・いちはさま 2021

栗原の食や自然に触れるサイクルイベントを実施する。

(くりはらファーマーズプロジェクト・一般社団法人栗原市観光物産協会)

③レンタサイクル

サイクルツーリズムを活用して地域経済を活性化させるため、くりこま高原駅や栗駒山麓ジオパークビジターセンター、商店街等を拠点に、自転車のレンタルを実施する。なお、具体的な運営方法等はサイクルツーリズム部会で協議する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会)

④サイクリングイベント実施・マップ作成

金成有壁地区などサイクリングイベントの実施に取り組む地域のイベント実施をサポートする。また、複数のサイクリングコースを設定し、マップを作成する。

(6) PR

①滞在型旅行WEB ページ作成

栗原市農泊推進協議会、(一社)栗原市観光物産協会(栗原市観光ポータルサイト「ぎゅぎゅっとくりはら」)で、アドベンチャーツーリズムやOTAのサイトを作成する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 櫻庭伸也)

②SNS (Facebook)

Facebook ページを運営し、取組みをPRする。

③日々農々時(ひびのうときどき)プロジェクト

栗駒文字地区でのイベント開催や地域振興の活動のサポートを行い、それらをPRする。

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 櫻庭伸也)

⑤その他

他機関や報道機関への情報提供等を行う。

(7) 地域おこし協力隊

令和元年10月に栗原市が任用した2名の地域おこし協力隊（農泊推進担当）と協力し、各事業を実施する。

氏名	主な担当事業	備考
櫻庭 伸也	・PR（イベント、Web、SNS等） ・旅行商品造成	（一社）栗原市観光物産協会
狩野 夏穂	・体験型コンテンツの企画、開発 ・人材（宿泊等事業者）の育成、支援	（一社）くりはらツーリズムネットワーク

（栗原市）

(8) 会員のサポート

①オンライン配信の支援 ※会員向け

協議会で保有しているカメラ（webカメラ、ビデオカメラ等）等の機材とオンライン配信のノウハウを会員に提供し、会員のオンライン配信を支援する。

②機材の貸出 ※会員向け

協議会・中核法人が保有する機材を貸し出す。

- ・プレゼンテーション機材（プロジェクター・スクリーン）
- ・オンライン配信用機材（webカメラ、ビデオカメラ、三脚、LANケーブル等）

③その他

他機関や報道機関への情報提供等を行う。また、金成有壁地区で開催を検討している「有壁着物フォトコンテスト」など、会員や関係機関が実施するイベント等の開催を支援する。

(9) その他

協議会の目的を達成するため、上記（1）から（9）の事業に加えて、柔軟に事業を実施する。

3 実施体制

(1) 中核法人を中心とした主体事業

中核法人（一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク）の実施する事業を協議会の主体事業（主催）として実施する。

(2) 会員主体の事業実施

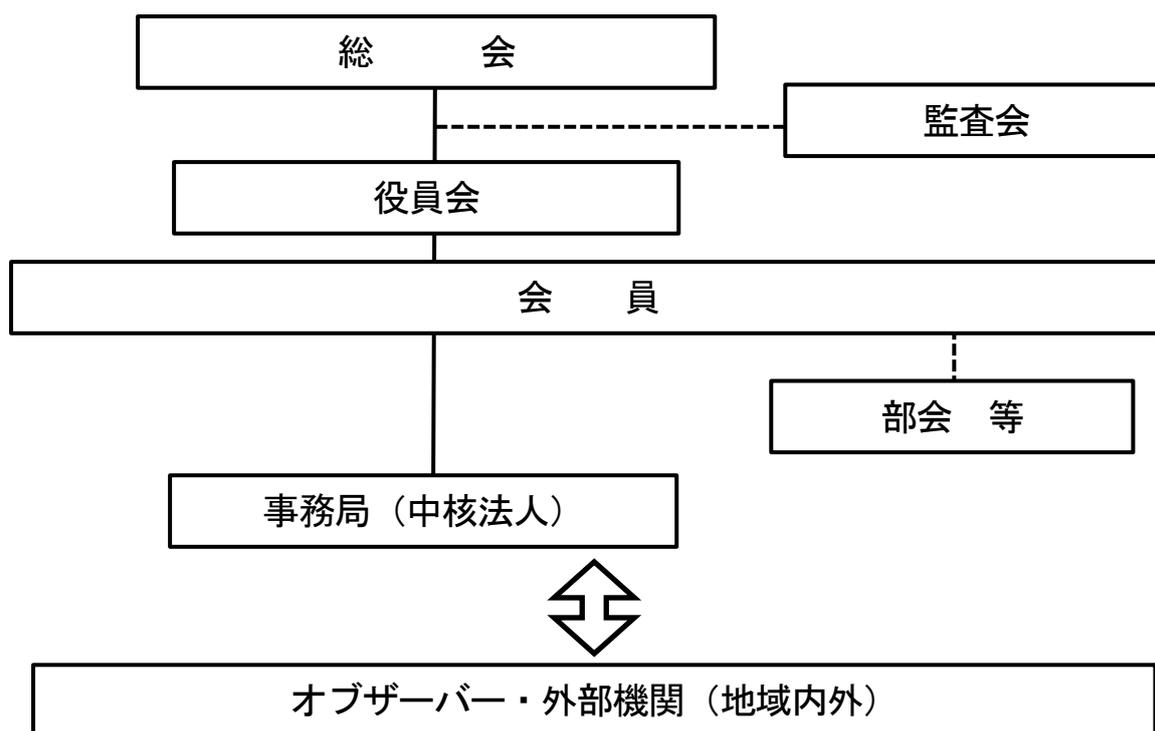
会員が実施するもので農泊推進事業に合致するものを協議会の事業（主催・共催・協賛・協力等）として実施し、中核法人等を含む会員が連携・協力する。

(3) 部会の設置による専門分野の特化

規約第8条の規定により、特定の事項を協議及び企画する部会等を開催する。会長の判断で柔軟に部会を設置し協議を進める。

(4) 外部機関との柔軟な連携

地域内外の関係機関と柔軟に連携する。



II 収支予算

収入の部	8, 525, 000円
支出の部	8, 525, 000円
差引残金	0円

1 収入の部

(単位：円)

No.	区分	前年度決算	予算	差引	摘要
1	交付金	683,385	0	△683,385	
2	負担金	0	0	0	
3	補助金	4,939,000	8,300,000	3,361,000	環境省「国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業費」ほか
4	事業収入	1,483,420	200,000	△1,283,420	受託事業、レンタサイクル等
5	借入金	0	0	0	
6	雑入	0	2,907	2,907	預金利息等
7	繰越金	3,146	22,093	18,947	前年度より
	計	7,108,951	8,525,000	1,416,049	

2 支出の部

No.	区分	前年度決算	予算	差引	摘要
1	人件費	3,199,672	4,511,000	1,311,328	人件費
2	需用費	1,913,501	3,400,000	1,486,499	消耗品、備品購入（電動アシスト小径車等）
3	使用料・賃借料	128,520	10,000	△118,520	会場使用料等
4	報償費	1,154,000	500,000	△654,000	講師謝礼、受入謝礼
5	役務費	840	50,000	49,160	切手代等
6	旅費	0	50,000	50,000	打合せ等
7	租税公課費	1,000	2,000	1,000	収入印紙等
8	借入金返済	683,385	0	△683,385	
9	雑費	5,940	2,000	△3,940	振込手数料等
	計	7,086,858	8,525,000	1,438,142	

3 予算流用・資金調達の特記事項

- (1) 予算区分の流用は補正予算を必要とせずに会長の判断で執行できるものとする。
- (2) 予定している資金調達手段のほか、年度途中に発生した補助金申請等の資金調達は、補正予算を必要とせずに会長の判断で執行できるものとする。
- (3) その他、特に重要な予算流用・資金調達に関しては、会長が役員会に諮り執行するものとする。

令和3年度
事業計画書
収支予算書



栗原市農泊推進協議会

(事務局) 一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味 45 番地
Tel. 090-4889-5310
Email kurihara.tn@gmail.com